

1/25 Hirado City Photo News
いつまでもお元気で 祝 100歳



岩の上町の豊増榮さんが100歳のお誕生日を迎えられ、黒田市長が自宅を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

豊増さんは、ご主人と一緒に教会のお世話をしたり、かまぼこを作る手伝いをするなど、2人の息子さんと6人の娘さんを育てながら生活してきました。現在は自宅で娘さんたちと楽しく過ごしています。

お祝い式では、お孫さん一同からプレゼントされた垂幕を飾り、「今日はありがとうございました」と、両手を合わせて感謝の言葉を述べました。

2/7 Hirado City Photo News
平戸神楽でひらめ初め



平戸文化センターで、平戸ひらめまつりが20年目を迎えたことを記念して、「平戸ひらめ初め」が開催されました。

会場には、平戸ひらめまつりを目的に観光などで訪れたお客さん約600人が来場し、平戸神楽なや田助ハイヤ節など平戸の代表的な伝統芸能を観覧しました。

会場内では、平戸ひらめまつり20周年にちなんで、ひらめを使った特製の巻寿司やうどんなども限定で販売され、訪れたお客さんも平戸のひらめを使った料理の味を堪能していました。

2/3 Hirado City Photo News
赤ちゃんの泣き声で悪霊退散



最教寺奥の院で、「子泣き相撲」が開催されました。当日は、晴天に恵まれ、遠くは北海道からの参加もあり、県内外から約300人の豆力士の取り組みが行われ、泣いたり笑ったり、時には寝ている豆力士たちに、会場は歓声や笑い声に溢れていました。

子泣き相撲は、約400年前に平戸藩初代藩主が、家来などの亡霊に悩まされていたとき、赤子の泣き声で亡霊が退散し、その後悩まされなくなったという言い伝えがあり、これを起源として、毎年節分の日に行われています。

2/2 Hirado City Photo News
多くの人に祝福され 祝 100歳



根獅子町の山田スエさんが100歳のお誕生日を迎えられ、黒田市長が青柳旅館を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

山田さんは、ご主人と一緒に農業を営み、3人の息子さんと娘さん1人を育てながら生活してきました。現在は、自宅でご家族に囲まれて生活しながら、デイサービスでご友人とお話をして楽しく過ごしています。

お祝い式は、盛大な式となり、スエさんも「ありがとうございました」と元気に感謝の言葉を述べ、とても喜んでいました。

1/30 Hirado City Photo News
これからも健やかに 祝 100歳



生月町の岳下アヤさんが100歳のお誕生日を迎えられ、黒田市長が自宅を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

岳下さんは、ご主人と一緒に農業を営みながら、3人の息子さんと、2人の娘さんを育て、趣味のお花や裁縫を楽しみながら生活してきました。現在は、娘さんと一緒に自宅で楽しく過ごしています。

お祝い式では、昔の思い出を楽しそうに語られ、「本日はお忙しい中ありがとうございました。」と感謝の言葉を述べました。

2/7 Hirado City Photo News
春の訪れを準備する川内峠



西海国立公園に指定されている、川内峠一帯で野焼きが行われました。野焼きは、毎年景観保全と防火を目的として、近隣の4地区と市、消防で実施しています。午前9時から火入れを行い、事前に刈っていた枯れ草は、勢いよく燃え上がっていました。

この日は、アマチュアカメラマンや見物客も多数訪れ、燃え上がる炎に魅了されていました。3月中旬から下旬になると、新芽が顔をだし始め、4月には川内峠一帯も、新しい緑のカーペットに覆われます。

2/6 Hirado City Photo News
2人のトークで楽しく学ぶ



たびら活性化施設で金融経済講演会「楽しく学ぼう！お金と英語」が開催されました。

テレビでお馴染みのお笑いコンビ「パッキンマックン」を招いて、大人になってからお金をどのように使ったり貯めたりすればよいかなどを、英語を交えながら講演してもらいました。

講演ではコントを挟んだり、パッキンマックンが場内を回りお客さんに質問するなど、会場に集まった150人のお客さんは、2人が織り成す軽快なトークでお金と英語について楽しく学んでいました。

2/21 Hirado City Photo News
乳がんの知識をより多くの人に



平戸文化センターで、ピンクリボンひらどAI・AI設立10周年を記念して、講演会&コンサートが開催されました。

講演会には、約150人が参加し、「乳がんリンパ浮腫の最新情報」と題して、ナグモクリニック福岡院長の北村薫先生による講演が行われ、「最新医療において、乳がんは早期発見であれば、6割が温存療法が可能であり、術後の合併症も少ない。リンパ浮腫は、正しい知識と専門による治療が大切です。定期的に検診を受けましょう」と話されました。

2/20 Hirado City Photo News
平戸特産品を全国のお茶の間へ



平戸棧橋で、「おさんぼジャパネット長崎SP編」の公開生放送が行われました。ジャパネットたかたの高田明前社長が日本全国を旅して特産品を紹介するテレビ番組で、平戸の特産品のあごやちゃんぼん、川内かまぼこなどをいつもの軽快な口調で紹介し、平戸の魅力を全国にPRしていました。

また高田さんの平戸の思い出にも触れ、「昔は幸橋の上で、アゴを100匹すくった、30歳までは実家のカメラ屋で働いていた」と、笑顔で話されました。

2/14 Hirado City Photo News
沿道の声援を受け完走めざし力走



「いきつきロード2016」大会が開催されました。

生月支所前をスタート・ゴールとするコースで行われ、全22種目に市内外から678組789人が参加しました。この日は非常に冷え込み、強風が吹く中で大会でしたが、参加者の皆さんは、沿道からの声援に支えられ、一生懸命ゴールを目指しました。

大会終了後は、地元の飲食店や団体が出店した、カレーや焼きもちなどで冷えた体を温めていました。

2/21 Hirado City Photo News
暮らしやすいまちづくりに向けて



平戸文化センターで、「平戸市まちづくり大会」が開催され、根師子集落再生機能協議会、総合型クラブたびスポ、度島小中学校の3団体による事例発表が行われました。度島まちづくり塾の事例発表では、地元の中学生17人が登壇し、25年後の度島を持続可能な島にするために考えた、3つの事業を発表しました。

発表後には、今後のまちづくりについて考えるパネルディスカッションも行われ、「大人だけでなく、子どもが暮らしやすいまちづくりも大事」などの活発な意見がでていました。

2/20 Hirado City Photo News
4年目を迎えた平戸瀬戸市場



平戸瀬戸市場で、「平戸瀬戸市場4周年誕生祭」が開催されました。平成24年にオープンした平戸瀬戸市場も、多くの皆さんに支えられて無事に4年目に突入しました。売り上げも、オープン当初から順調に伸びており、今年度は、昨年よりも多い7億円を突破しました。

今回も、ガラポン抽選会や餅つき、いか焼き、甘酒、海鮮やきそばなどを販売しました。また、いちごの早食い競争などもあり、子どもから大人まで新鮮ないちごを、口いっぱい頬張っていました。

2/14 Hirado City Photo News
みんなで学ぼうイノシシ対策



たびら活性化施設で、「イノシシ大学」が開催されました。市内各地から約150人が参加し、県の専門職員によるイノシシの生態や基本的な対処法などの講義を受講しました。その後、イノシシに関するクイズを混ぜながらの事例発表、意見交換などが行われ、地域住民が一体となって、イノシシ被害対策に取り組むことの重要性を学びました。

お昼には、宝亀地区の陽だまりの会が調理したイノシシ肉をたっぷり使った「イノシシカレー」が振る舞われました。

2/7 Hirado City Photo News
ペアの貝に細かく描く



平戸オランダ商館で「貝合わせをつくろう～ひな祭りを描く絵付け体験～」が開催されました。

ハマグリはもともとペアだった殻としかぴたりと組み合いません。そのことから、古くは夫婦円満の願いをこめ、360組の貝合わせの貝を婚礼道具として持参していたそうです。

この日は、ハマグリの中に日本画で用いる絵の具(顔彩)を使い、ひな人形の絵付けを行いました。参加した皆さんは、貝の中に絵を描くという細かい作業ではあるため、集中しながらも楽しみながら思い思いに描いていました。